



日本洋書協会

JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

January 2017
REPORT MAGAZINE

会報誌 | vol. 51 no. 1

Published by JAIP 1-1-13-4F, Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

e-mail:office@jaip.jp

新年のご挨拶

理事長 相澤久俊

明けましておめでとうございます。

洋書協会の会員の皆さま、会報をお読みの皆さまにおかれましては、新しい年をつつがなくお迎えのことと存じます。

2017年の幕が開いたばかりですので、多少、前年2016年(平成28年)を思いかえしてみたいと思います。「激動」という言葉が妥当であるかは確信がありませんが、「不安定」な年であったことは間違いのないことかと推量しています。その事例に、誰もが挙げるのは、「英国のEU離脱」であり、「米国大統領選挙でのトランプ氏当選」ではないでしょうか。両方とも多くの方の予想、想定を覆した結果となりました。その根底に何があって、流れが変わっていったのかは、私などにはわかりかねますが、「風」というのは予報どおりには吹かないものだな、と今だに驚きを継続しております。ただ、いろんな記事を辿ってみますと、予想という「範疇」にはかなりの誤差を生じるのも事実かと思えます。先の「トランプ当選」でも、直後の年末までの為替予想は、多くのエコノミストたちは「1ドル94円から105円」でした。何事も疑ってかかれ、とは申しませんが、鵜呑みは禁物ということでしょうか。

さて今さらではありませんが、紙の出版物市場はますます縮小しています。国内の書籍・雑誌の総販売額はピーク時の1996年より40%1兆円減の1兆5千億円と発表(出版科学研究所)されています。世界をみても、この5年間(2011～2015年)で紙の一般書籍は8%を超える減(PWC報告)です。それに比べ、電子書籍の伸びは2.5倍となっております。16年も10%成長とのことですので、新年17年もおそらく電子書籍は拡大潮流と思います。ただ、興味深いのは米国の状況です。PWCの記事では紙の書籍が盛り返しているとのことでした。14年を境に年3%成長に転じ、今後も毎年1～2%



成長をすとの推測がされていることです。「ネット上での大量、フラットな情報に人々は疲弊し始めている」との分析もされているようです。米アマゾンがリアル書店の出店を決めた一因ともいわれ、いずれ日本や他の国にも波及するという見方もあるようです。しかしながら、紙に電子書籍合わせても文字離れが顕著といわれている日本の現状への対応はかなり重い課題であることも認識する必要があるのかもしれない。

協会のことに少し触れます。残念ながら退会された会社もありますが、皆さまのご努力で新しい会員会社を迎え入れることができています。引き続き、業界で事業を営んでいる会社さんへの働きかけをお願いいたします。

なかなか先行き不透明な時代ではありますが、各社の皆さまのお知恵と行動力で是非とも協会を盛り上げ、発展を築きたくご協力をお願い申し上げます。最後に本年も会員皆さま方のご健勝を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2017年1月

理事会報告

2016年11月16日(水)

出席(敬称略) 相澤、松村、細谷、小松崎、鶴、深町
(総務委員長・事務局)

1. 予算状況

ほぼ順調に推移しているとして了承された。

2. 委員会報告

- ・総務: 東洋文庫の見学会は多数の参加を得た。解説員の手配に行き違いがあり、申し訳なかった。また企画中だったセミナーは先方の都合でキャンセルとなった。年度内にもう1本、企画したい。

- ・メディア・広報: 会報11月号は若干発行が遅れる。最近会報広告への出稿が減り、苦慮している。宣伝効果の面では難しいとは思いますが、何とか協力して欲しい。
- ・文化・厚生: 次回のボウリング大会は12月6日に行う。検討中のラフティングについてボウリング参加者から意見を募る。
- ・事業: TIBFバーゲンは盛況で、売上げも16%増となった。会期は3日間であったが、日曜が入ったのと、クレジットカードを導入したのが大きかった。

以上

海外ニュース

英国作家協会がEU離脱後もEUの著作権法に準拠するよう要請

英国作家協会(The Society of Authors、以下SOA)は、欧州委員会(The European Commission、以下EC)の著作権指令草案について、知的財産庁(The Intellectual Property Office、以下IPO)への正式な回答として、イギリス政府にEU離脱後もEUの法律に従うよう要請した。

これは、九月に発表されたECの著作権法案を歓迎する声明に続くものである。その法案とは、契約の透明性と、いわゆる『ベストセラー条項』という、本が何冊売れたかに関係なく一律の原稿料しか支払われない作家の立場の改善に言及した条項を強調したものである。

この草稿案の見解をIPOに求められたSOAは、

イギリスがEU著作権法に準拠し、ヨーロッパと足並みを合わせて強力な著作権体制を築くことがとても大事だと述べた。SOAは、EU市場の重要性を強調しつつ、イギリスのEU離脱のプロセスの過程で業界の安定をはかるためにも、必要なことだとしている。

「イギリスのデジタル単一市場(DSM)の立法化も、デジタル市場の混乱を避けるために、EUのそれを反映したものでなければならない」

イギリスの創造産業は年間841億ポンドの売上があり、うち本の売上の40%以上は海外への輸出からきている。

(The Bookseller Online, December 6, 2016より抄訳)

情報提供: MHM 遠藤尚子

■ 公告

1. 2017年度の総会は5月12日(金)午後4時30分から国際文化会館で行う。
2. 2月中旬に役員選挙を行う。会員代表者に変更がある場合は1月13日まで事務局に報告のこと。

■ 移転

トムソン・ロイター Legal 事業部
〒107-6330 東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー 30 階
代表 03-6441-1920
深町 恒之 03-6441-1935
石田 さやか 03-6441-1937

我が社・わが街

第7回 大崎

チャールズ・イー・タトル出版株式会社

倉上 雄一

チャールズ・イー・タトル出版の歴史をたどると、1945年までに遡ります。終戦直後の1946年にチャールズ・イー・タトル氏は、マッカーサー元帥の命を受け来日しました。戦争で荒廃した日本の新聞、出版業界を立て直す為、元帥直々の命により印刷用紙をアメリカから輸入するなど、戦後の出版復興に貢献しました。その後日本文化の魅力に取り憑かれたタトル氏は日本にとどまり、洋書の輸入、和書の輸出、そして日本文化紹介書籍、ブックス・オン・ジャパンの出版を開始しました。

1948年に文京区水道にオフィスを構え、Charles E. Tuttle Companyとしてビジネスをスタートし、長年文京区水道を拠点に活動していました。現オーナー、Eric Oey (エリック・ウイ) が1997年にCharles E. Tuttle Companyを買収後、川崎市登戸、品川区目黒を経て、2002年に現在オフィスのある、品川区大崎へ転居しました。

1980年代の末まで、山手線のみが停車し、どちらかと言うと知る人ぞ知る土地でした。となりの五反田や品川のターミナルから離れ、駅前には明電舎の本社、ソニーの研究所、付近を流れる目黒川の流域には町工場が立ち並ぶ、典型的な京浜工業地帯の町並みという風景が広がっていました。その後大崎駅再開発がスタートし、90年代にはゲートシティ、2002年に大崎駅に湘南・新宿ラインと埼京線・りんかい線が開通し、旧明電舎跡地にはThink Parkというオフィスビルが開業しました。また今年に成田空港への直通バスも運転をスタートし、城南地区屈指のターミナル駅になりました。

大崎がビジネス街として定着した一方、となりの五反田は昭和の香りが残る歓楽街として有名です。飲食店の件数は多く、ランチやディナーに不自由しないエリアです。ここでグルメ情報をいくつか。プロレスラーも通うステーキハウスリベラ五反田店では、30分以内にジャンボステーキとライスを3枚ずつ

平らげると10000円を進呈されます。腕(胃袋)に自身のある諸兄は挑戦されてはいかがでしょう？

もつ焼き「ばん」は通をうならせる大衆居酒屋で、毎日行列が出来ている名店です。今では全国的にポピュラーなレモンサワーはこの店が発祥の地と言われています。

大崎には住宅街の真ん中にひっそりと佇むフレンチの名店、おはらす・レストランはミシェランの東京ガイドでも紹介されました。

最後に、もし本稿を読んで大崎に興味を持たれた方は、桜の季節に訪れる事をお薦めします。目黒川沿いの桜並木は中目黒から大崎まで続く、今人気急上昇の桜の名所です。



ゲートシティ大崎

楽譜のオハナシ ⑬

楽譜の印刷はいつから？



アカデミア・ミュージック(株) 平岩 寧

前回、大急ぎで印刷楽譜が刷り上がるまでの過程を書きましたが、少し抜けているところもありますが後日追加することにしまして、手書きの楽譜と印刷楽譜が混在して演奏に使われた時代が一世紀ほど続きます、別にナントカ時代と言うことではありませんが、印刷されない楽譜はどのようにして広がって行ったのでしょうか？作曲された曲の楽譜は当然、作曲家の直筆の楽譜です、それは写譜屋さん？(出版者・印刷屋さんの前身?)に渡されそこで何部かが出来さらにそこから広がって行ったのでしょうか、何回か作業するうちには職人さんが写譜の際に誤って書いたり、抜けてしまったり、或は余分なものが付いてしまったりしたこともあったのではないのでしょうか、とにかく印刷楽譜が一般化されるようになる、市販の楽譜が出回るようになるまでは、この手書の楽譜と印刷の楽譜が並行して演奏に使われていたことは事実です。

では、楽譜の印刷は何時ごろから始まったのでしょうか、文献をみますと色々記述されていますが、1473年頃にドイツで最初の楽譜が印刷されたのが、印刷楽譜とは言えないものだという記述が残されています、1501年にはベネチアでベトルッチが楽譜を出版していると書かれています、いずれにしても16世紀に入って楽譜の印刷は盛んになっていったのです。それまでは、どちらかと言うと楽曲より教会で使われる典礼書に楽譜が含まれていたようなものが多かったと思われます。しかし16世紀に入ってから教会音楽だけではなく一般の楽曲も印刷され、マーケットも大きくなり販売される部数も増加しました。拡大されたといってもそんなに多くの部数が販売されたわけではなかったようです。

日本で西洋音楽の楽譜(五線譜)が再び印刷されたのは、天正遣欧使節団の少年たちがヨーロッパで習得した技術とそれを実行するための印刷機を持ち返って出版したサカラメンタ提要(1605年 長崎)から数えて、おおよそ三百年間の空白を置いて1882年に(明治十五年小学唱歌集)が出版されその後現在に至る経過は皆さまがよくご存じのことですが、改めて、情報を伝達する、残す媒体として利用してきた素材を今一度ふり返ってみ

たいと思います、楽譜も同じような歴史をたどっていますので。

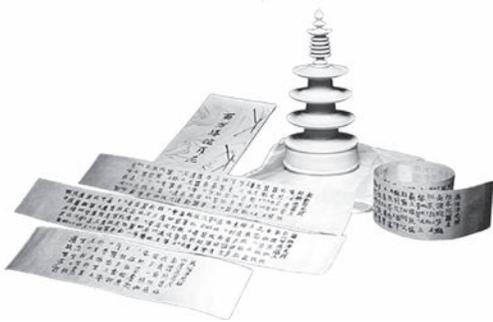
以前にも書きましたが一般的には紀元前には石に刻み込まれ、又、粘土を固めた板状のものに刻み込まれています。次に世に出てきたのが古代エジプトや西アジア・ヨーロッパで使用されたパピルスです、パピルス(Papyrus=カミガヤツリ)と言う植物の茎を細かく裂いて、組み合わせさせて叩いてくっ付け、板状にして乾燥させたものです、次の素材は羊皮紙(パーチメント)と言って羊の皮を使っています、毛を取り除き皮を薄く剥いたものです、これは多くはヨーロッパで使われていますが日本ではあまり見当たりません。

日本や中国では木簡あるいは竹簡といわれるものに様々な事象の記録などに使っていました、よくTVのニュースになるのは奈良時代の遺跡から発掘され木簡の記述から歴史上の重要な出来事の実事確認に役立っていますし、その時代の下級官僚の給与等、庶民生活の実態が明かされています。それでは紙はどうだったのでしょうか。

紙の歴史は古く紀元前二世紀頃に中国で発明されていたようです、其の頃ヨーロッパではまだ石の時代からパピルスの時代でした。中国では考古学の発見として紙はBC 140年くらいが一番古いとされています。その後、後漢時代(AC 105年)に蔡倫(さいりん)によって改良され実用化されました。

日本へは推古天皇十八年(610年)に高句麗の国の僧侶曇徴(どんちょう)が墨と一緒に紙を持ってきたのが最初ようです。そして紙は日本に定着して日本独自の改良と開発で和紙の質が向上して行きました。

印刷という事になりますと、「百万塔陀羅尼」です、これは現存する世界最古の印刷物です、それは名前の通り百万枚(個)が天平宝字八年(764年)から五年かけて称徳天皇(女帝)の命令で印刷され正倉院に十万個をはじめとして十のお寺にそれぞれ十万個づつ納められました、今では、戦火や天災などで喪失して正倉院に数万個保存されているほかは図書館・博物館その他個



百万塔陀羅尼

人のところに所蔵されているだけになりました。

紙〔パピルスではありません(注)〕はヨーロッパへ何時頃どのような経路で伝わって行ったのでしょうか、シルクロードを東から西へ向かってイスラムの世界を経て約千年もかかって十二世紀初めに初めてヨーロッパに入りました、大西洋を渡ってアメリカに入ったのは十七世紀半ばで多分メイフラワー号に乗ってでしょう。製紙技術の改良と開発でヨーロッパの需要に応じた紙、洋紙が開発されそして十九世紀に日本へ輸入されました。

十三世紀に入るとヨーロッパの各国に製紙工場が建設され生産量は飛躍的に伸び、加工技術も進化して1200年代後半には透かしの技術も開発され、製紙工場の名前などが透かしで入るようになりました。この透かしが楽譜の世界では重要な役割を果たしているのです、作曲家の真筆かどうか???を判定するのに…

紙が使われるようになった当初は、高価なものであって

庶民の間では簡単に購入できるものではなかったと思いますが、財政豊かな貴族社会、教会関係で多く使用されていたと思います、大量生産できるようになってから普及のスピードはかなり早くなり、印刷技術の飛躍的な発展があり十八世紀には一時間に300枚が印刷出来るようになり、当然紙の消費量は上昇し価格も下がって庶民でも手が出せるようになっていったことでしょう。

印刷技術が飛躍的に改良されたとはいえ楽譜の印刷は難しかったようで、木の板に版を刻んだり、金属の板に刻んだり、楽譜と文字を別々に製版して印刷する、そしてまた五線、楽譜、記号を活字化して版を組むことをしました、これはかなり近代まで行われていました、ロンドンのNovello社の出版物などに見られました、慶長の『サカラメント提要』の楽譜の部分にも使われていたようです。十九世紀になってからも音楽の理論書、ルッソーの音楽辞典などが印刷された書籍になりました。楽譜についてはかなり後まで浄書、手写による楽譜が商品として扱われていました。

注：紙とパピルスの違い

パピルスは papyrus パピルス草（カヤツリグザ科）を並べて板状に叩いて固め乾燥させたものです。

紙は水の中でバラバラにした植物などの繊維を煮つめて、薄く延ばして乾かしたものでパピルスとは違うものです。平安時代には高価なものであったので当時でも「抄き返し」と言って再利用をしていました。



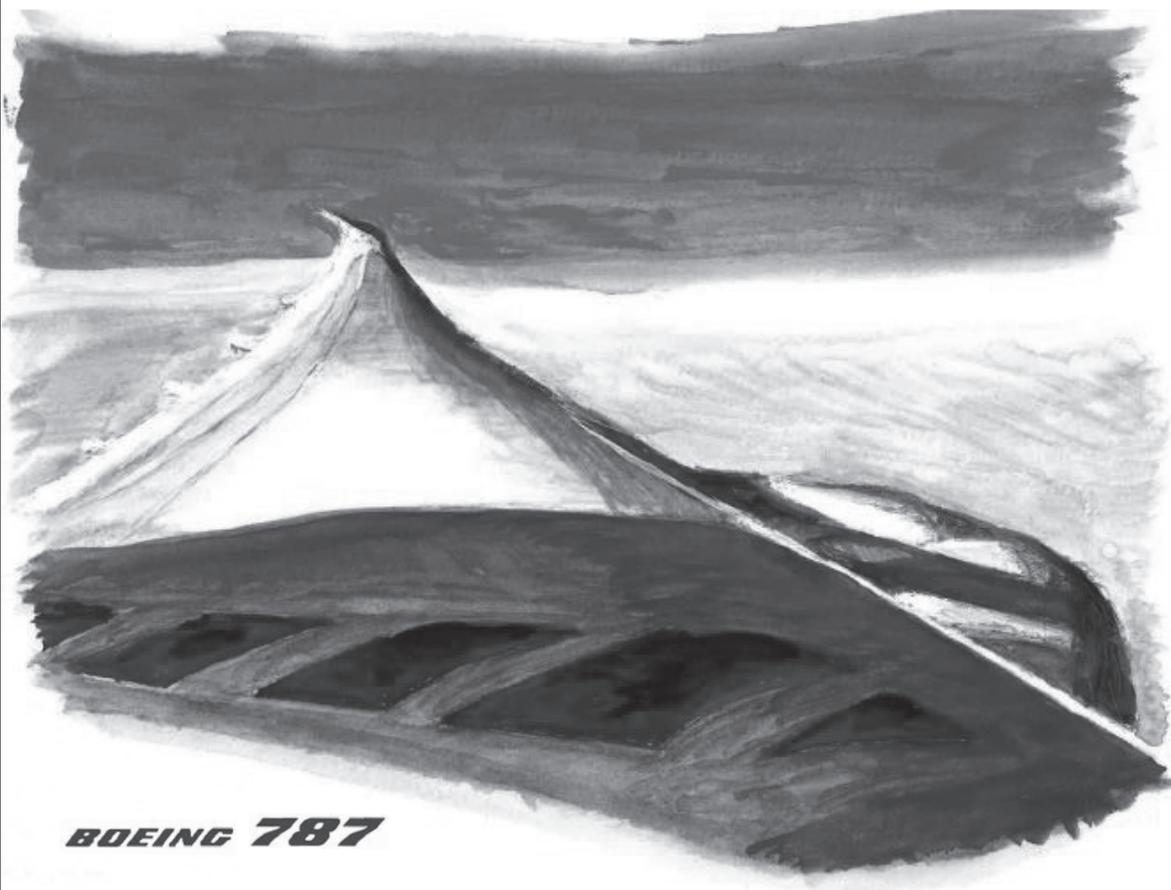
papyrus パピルス草（カヤツリグザ科）
（東南植物楽園（沖縄市）にて）



パピルス
（東南植物楽園（沖縄市）にて）

International Book Fair in 2017

Name of Fair	Date	Place	website/e-mail
Taipei International Book Exhibition	8-13/Feb/2017	Taipei	http://www.tibe.org.tw info@tibe.org.tw
New York Antiquarian Book Fair	9-12/Mar/2017	New York	http://nyantiquarianbookfair.com/ info@sanfordsmith.com
The London Book Fair	14-16/Mar/2017	London	http://www.londonbookfair.co.uk/ lbf.help@reedexpo.co.uk
Leipziger Buchmesse	23-26/Mar/2017	Leipzig	http://www.leipziger-buchmesse.de info@leipziger-buchmesse.de
Salon du Livre Paris	24-27/Mar/2017	Paris	http://www.salondulivreparis.com livre@reedexpo.fr
Bologna Children's Book Fair	3-6/Apr/2017	Bologna	http://www.bookfair.bolognafiere.it dir.com@bolognafiere.it
Abu Dhabi International Book Fair	26/Apr-2/May/2017	Abu Dhabi	http://www.adbookfair.com/ info@adbookfair.com
BookExpo	31/May-2/Jun/2017	New York	http://www.bookexpoamerica.com inquiry@bookexpo.america.com
Seoul International Book Fair	14-18/Jun/2017	Seoul	http://kpa21.or.kr/ danapark@kpa21.or.kr
Special Libraries Assn. Annual Conference	16-20/Jun2017	Philadelphia	http://www.sla.org sla@sla.org
American Libraries Assn. Annual Conference	22-27/Jun/2017	Chicago	http://www.ala.org ala@ala.org
Tokyo International Book Fair	Sep/2017	Tokyo	http://www.bookfair.jp tibf@reedexpo.co.jp
Hong Kong Book Fair	19-25/Jul/2017	Hong Kong	http://hkbookfair.tdctrade.com exhibitions@tdc.org.hk
Beijing International Book Fair	Aug/2017	Beijing	http://www.bibf.net/ bibfmo@bibf.net
Frankfurt Book Fair	11-15/Oct/2017	Frankfurt	http://www.book-fair.com/en/fbf/ info@book-fair.com
CIROBE	20-22/Oct/2017	Chicago	http://www.cirobe.com info@cirobe.com
Moscow International Book Fair	Dec/2017	Moscow	http://www.mibf.ru mibf@mibf.ru



BOEING 787

ユサコは最新のボーイング787のように、
経済的で効率的で質の高いサービスをお客様に提供しています。

海外出張・海外見本市の視察を全力サポート！

海外出張・見本市の手配は、ジェイワールドトラベルにお任せください！
“専任のスタッフ”が決め細やかなサービスで快適な旅をお手伝いいたします。

—International Book Fair—

>>>> 予約受付中 <<<<

2017年4月3日(月)～4月6日(木) / イタリア・ボローニャ <ボローニャ見本市会場>

ボローニャ国際児童書籍展 ~Bologna Children's Book Fair~

旅行期間 : 2017年4月2日(日) 出発 6日間 宿泊ホテル : Grand Hotel Elite ★★★★★
旅行代金 : 235,000円～ ※見本市会場までタクシーで約15分

2017年3月14日(火)～3月16日(木) / イギリス・ロンドン <オリンピック見本市会場>

ロンドン国際書籍展 ~London International Book Fair~

旅行期間 : 2017年3月13日(月) 出発 5日間 宿泊ホテル : Mowbray Court Hotel ★★★
旅行代金 : 185,000円～ ※見本市会場まで最寄り駅から地下鉄で1駅

2017年3月24日(金)～3月27日(月) / フランス・パリ <ポルトドベルサイユ見本市会場>

パリ書籍展 ~Paris Book Fair~

旅行期間 : 2017年3月23日(木) 出発 5日間 宿泊ホテル : Mercure Opera Garnier ★★★★★
旅行代金 : 199,000円～ ※見本市会場まで最寄り駅から地下鉄1駅

2017年5月31日(水)～6月2日(金) / アメリカ・ニューヨーク <ジャヴィッツセンター>

全米書籍展 ~Book Expo America~

旅行期間 : 2017年5月30日(火) 出発 5日間 宿泊ホテル : Mela Times Square ★★★★★
旅行代金 : 240,000円～ ※見本市会場まで最寄り駅から地下鉄で1駅

2017年10月11日(水)～10月15日(水) / ドイツ・フランクフルト <メッセ フランクフルト>

【企画】フランクフルト書籍見本市 ~Frankfurt Book Fair~

※視察プランは現在企画中ですが、お見積りは随時受け付けておりますのでお問い合わせください。
また、香港や北京、台湾など、世界のブックフェアも取り扱っております。

上記以外にも、ジェイワールドトラベルでは、お客様のニーズに合わせた旅行手配を承ります。
専任のスタッフが、お問い合わせからご帰国までをサポートし、ベストなプランをご提案いたします。

お問合せ・旅行手配



JATA正会員 / 観光庁長官登録旅行業 第1359号

株式会社ジェイワールドトラベル

お問合せ

Tel 03-3402-9955

〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル6F
URL www.jw-trvl.co.jp/ Email tet@jw-trvl.co.jp 担当: 藤代

日本洋書協会会報 vol.51 No.1(通算544号) 発行日2017年1月1日 編集者 松野 夏生

発行所 日本洋書協会 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-13 (株)MHM内 TEL 03-3518-9631 FAX 03-3518-9523
URL:<http://www.jaip.jp> E-mail:office@jaip.jp